

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

国立健康危機管理研究機構／国立国府台医療センター 消化器・肝臓内科では、国立長寿医療研究センター研究所 認知症先進医療開発センター脳機能画像診断開発部、岐阜大学大学院 医学系研究科と共同で実施する下記研究のために、本機構で保管する下記の残余検体・診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本機構での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本機構での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[共同研究課題名]

不顕性肝性脳症の発症予測や予後改善を目指した、脳の炎症・免疫機能の評価

[共同研究の研究代表機関及び研究代表者]

研究代表機関・研究代表者：国立長寿医療研究センター研究所 脳機能画像診断開発部 副部長 木村泰之
本研究に関する問い合わせ先：国立長寿医療研究センター研究所 脳機能画像診断開発部
電話：0562-46-2311（平日9：00～17：00）

[利用・提供の対象となる方]

2010年～2025年8月までの間に、国立健康危機管理研究機構／国立国府台医療センター 消化器・肝臓内科において慢性肝疾患と診断され治療を受けられた方

[利用・提供している検体・診療情報等の項目]

検体：血漿、血清 診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、合併症、教育歴、投薬内容、精神神経機能検査

利用・提供開始予定日

被験者保護の観点から、国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会承認後1か月以上経過後から、利用・提供予定です。

[利用・提供の目的] （遺伝子解析研究：無）

肝性脳症において、脳の炎症や免疫機能がその発症や症状、予後に与える影響を明らかにすることで、脳の炎症や免疫機能を標的とした新たな治療開発を促進させることを目的とした共同研究実施。

[主な共同研究機関及び研究責任者]

1. 国立長寿医療研究センター研究所 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部 副部長 木村泰之
2. 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター センター長 考藤達哉
3. 岐阜大学大学院 医学系研究科 教授 清水雅仁

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：研究の実施許可日より2029年3月31日までの間（予定）

提供方法：☐直接手渡し ☒郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

研究代表機関である国立長寿医療研究センター倫理・利益相反委員会において一括審査、承認され、本機関長の許可を得た研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[国立健康危機管理研究機構における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター センター長 考藤達哉

研究内容の問い合わせ担当者：国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター

肝疾患研究部 上級研究員 松田道隆 電話：047-372-3501（代表）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

作成日：2025年7月4日

第 1.0 版